



交流まちづくり

～ サステイナブルな地域をつくる新しい観光 ～

国土総合研究機構
観光まちづくり研究会 編者

著者：上田 裕之、小野崎 研郎、猪股 亮平、
荒 ひかり、谷 彩音、三上 恒生、
今場 雅規、林 明希人、今泉 ひかり、
江花 典彦、奥川 良介、岡村 幸二、
副田 俊吾、山田 泰司、植村 真雄、
中嶋 紀世生、藤本 稔彦

発行：(株)学芸出版社

価格：2,500 円（税別）

発行日：2022 年 5 月 1 日

2005 年 6 月から活動を行っている「国土総合研究機構・観光まちづくり研究会」が、これまでの研究の成果をまとめる形で、書籍『交流まちづくり～サステイナブルな地域をつくる新しい観光～』を出版しました。

本書は(株)建設技術研究所、日本工営(株)、パシフィックコンサルタツ(株)に所属する社員により結成した「国土総合研究機構 観光まちづくり研究会」のメンバーが中心となり、一部外部有識者の協力を得て執筆しました。

1. 書籍出版

本書では、地域の持続可能性を見据え、地域資源を活用した観光を取り入れながら住民と観光客がまさに「交流」し、地域の活性化に取り組んでいる事例を6つのテーマに分けて、章ごとに紹介しています。

なお、取り上げた事例については、成功した取り組みだけでなく、失敗した取り組みにも触れつつ、その試行錯誤のプロセス、現時点での課題、今後の対応策などについても可能な限り紹介しています。

2. ポストコロナ期のまちづくり

本書の出版企画がまとまったのは 2019 年 12 月のことで、まだ新型コロナウイルス感染症が世間を騒がせていない頃でした。

その後パンデミックが発生し、新たな生活様式が求められています。本書で提案している「交流」を手段とした「持続可能なまちづくり」はウィズコロナ時代であっても、さらに言えばポストコロナの時代にこそ有効なものであると考え、コロナになってからの対応も可能な範囲で加筆した上で出版に至りました。

目次構成

- | | | |
|-----|--------------|--------------------------|
| 1 章 | 交流まちづくりとは | |
| 2 章 | スポーツツーリズム | ー自然 × アクティビティの価値創出が人を呼ぶー |
| 3 章 | 空き家活用から交流を生む | ー若い起業家が集まり、変化を起こす仕掛けづくりー |
| 4 章 | インフラツーリズム | ー土木構造物を活用したエリアマネジメントー |
| 5 章 | サステイナブルツーリズム | ー最先端の環境政策が注目を集めるー |
| 6 章 | アグリツーリズム | ー農業と連携した多様な事業が交流を生むー |
| 7 章 | 最も美しい村運動 | ー地域の自立を目指すコミュニティツーリズムー |

本書は全国大手書店で販売されている他、アマゾンでも注文可能です。

書籍の内容、ご購入につきましては、**学芸出版社ホームページ**

<https://book.gakugei-pub.co.jp/gakugei-book/9784761528188/>
をご確認ください。